

## 4. トピック③ 卒業後の進路

卒業後の進路について詳細にみていきましょう。はじめに、現在考えている卒業後の進路先は、全体として2016年度・2017年度と同じ傾向を示しています（表7）。「民間企業」を中心に「公務員」、「大学院進学」とつづき、文系2年以上では「民間企業」が7割を超え、ついで「公務員」となります。理系では「民間企業」と「大学院進学」が半々です。

表7 文理・学年別にみた学部卒業後の進路希望（複数回答）

(%)

	N	民間企業	公務員	小中高 教員	大学教員	大学院 進学	研究所・ シンクタンク	起業・ フリーランス・ 自営業	各種資格 試験受験	留学	NGO・ NPO	未定	その他
2016年度全体	3268	66.4	21.1	5.9	2.7	22.6	6.0	7.6	5.4	6.2	—	7.4	3.1
2017年度全体	3490	65.9	21.1	5.7	2.4	21.7	6.2	7.3	5.1	5.8	—	8.6	2.4
2018年度全体	3182	67.3	22.4	6.1	3.1	22.2	7.4	10.8	5.4	7.8	4.7	7.8	3.4
文系1年	770	63.9	31.8	7.1	3.6	15.6	4.3	13.8	7.8	10.3	6.9	11.8	4.4
文系2年	655	71.8	28.4	7.6	3.5	15.7	5.2	12.8	6.0	9.9	6.7	9.6	4.6
文系3年	597	74.7	20.4	6.7	2.2	13.2	4.4	8.4	5.9	7.5	5.2	4.5	3.5
文系4年以上	466	75.9	14.3	4.1	2.1	12.4	1.5	6.6	3.2	3.2	2.6	2.8	3.6
理系1年	197	57.4	15.7	5.6	3.6	46.7	21.8	15.2	4.6	8.6	2.5	12.7	1.5
理系2年	177	52.0	11.3	2.3	4.0	51.4	25.4	14.1	3.4	6.2	0.0	9.0	1.7
理系3年	175	61.4	15.9	4.5	3.4	51.1	14.8	8.5	4.0	8.0	1.7	4.0	0.6
理系4年以上	145	46.2	9.7	4.1	2.8	51.7	15.9	2.8	1.4	2.1	2.1	4.8	0.0

※無回答29人を除く。

進路希望の組み合わせは、表8のように、文系・理系とも高学年ほど希望が集約されています。卒業後の進路が希望の水準から志望へと明確化する様子がわかります。文系では「民間のみ」の比率は、1年では37%にとどまりますが、4年以上では67%になります。同様の傾向は、理系では「大学院のみ」で顕著で、1年では22%、4年以上では43%です。

表8 文理・学年別にみた卒業後の進路希望の組み合わせ

(%)

	N	民間希望				公務員のみ	公務員・ 大学院	大学院のみ	その他
		民間のみ	+公務員	+大学院	+公務員 +大学院				
全体	3182	45.5	12.9	6.3	2.7	5.4	1.4	11.9	14.0
文系1年	770	37.0	19.7	3.8	3.4	7.3	1.4	7.0	20.4
文系2年	655	46.3	17.4	5.0	3.1	6.4	1.5	6.1	14.2
文系3年	597	57.8	11.6	4.5	0.8	6.5	1.5	6.4	10.9
文系4年以上	466	67.2	6.2	1.9	0.9	6.0	1.3	8.4	8.2
理系1年	197	26.9	7.6	17.3	5.6	0.5	2.0	21.8	18.3
理系2年	177	25.4	6.2	17.5	2.8	1.1	1.1	29.9	15.8
理系3年	175	30.9	8.6	16.6	5.7	0.6	1.1	28.0	8.6
理系4年以上	145	33.8	4.1	5.5	2.8	2.1	0.7	42.8	8.3

卒業後の進路にむけた準備についてたずねたところ、文系・理系、学年ごとに特徴があります（図17）。文系1・2年は、4分の1は「特に準備はしていない」とし、準備内容では、「語学習得」を40%程度があげています。ついで「学問・研究に励む」「留学」となっています。3年では9割近くがなんらかの準備をしています。48%が「インターン」を、ついで「学問・研究に励む」「語学習得」「企業研究・就職試験対策」「資格試験対策」「課外活動の充実」がそれぞれ20%を超えています。理系では、文系と同じく1・2年で4分の1が「特に準備はしていない」とし、「語学習得」と同程度「コンピューター技術取得」も行っており、さらに50%以上が「学問・研究に励む」をあげています。理系3年では文系3年と同じく「インターンシップ」が高率ですが、35%にとどまります。理系4年以上では「学問・研究に励む」を73%が準備としてあげています。

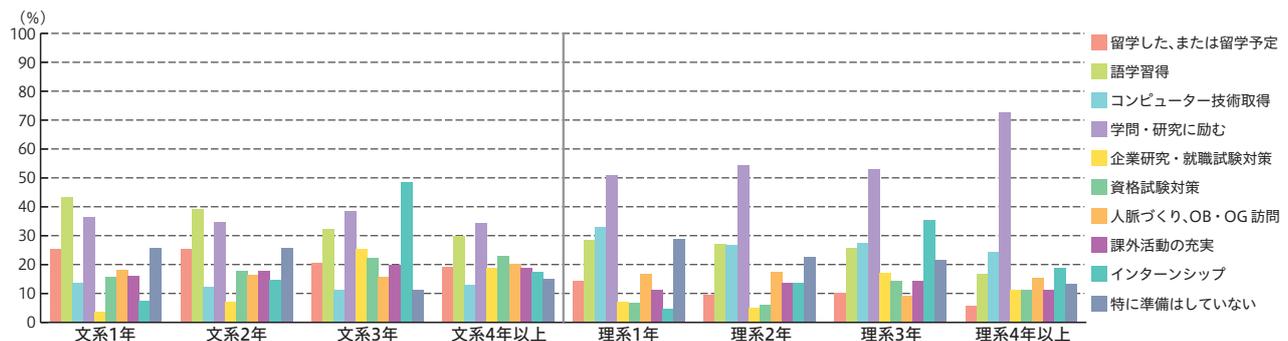


図17 文理・学年別にみた進路にむけた準備（複数回答）

進路にむけた準備は、3年・4年以上では、志望別に特徴がみられます（図18）。文系3年の民間志望者では、「インターンシップ」を60%が、「学問・研究に励む」「語学習得」「企業研究・就職試験対策」を30%があげています。公務員志望では「学問・研究に励む」「インターンシップ」を40%が、「資格試験対策」を36%が行っています。文系4年以上では、民間志望者はすでに就職活動が終盤をむかえているため、準備内容は「語学習得」など全般に低調になっています。公務員志望では「企業研究・就職試験対策」と「学問・研究に励む」「資格試験対策」が高率です。他方で理系では、3年の民間志望者では「学問・研究に励む」「インターンシップ」を40%以上があげています。大学院志望者では「学問・研究に励む」が63%と集中しています。4年以上では民間志望者は文系4年以上と同じく、全般に低調です。対照的に大学院志望者は、「学問・研究に励む」を85%があげており、卒業論文等に集中しているようです。

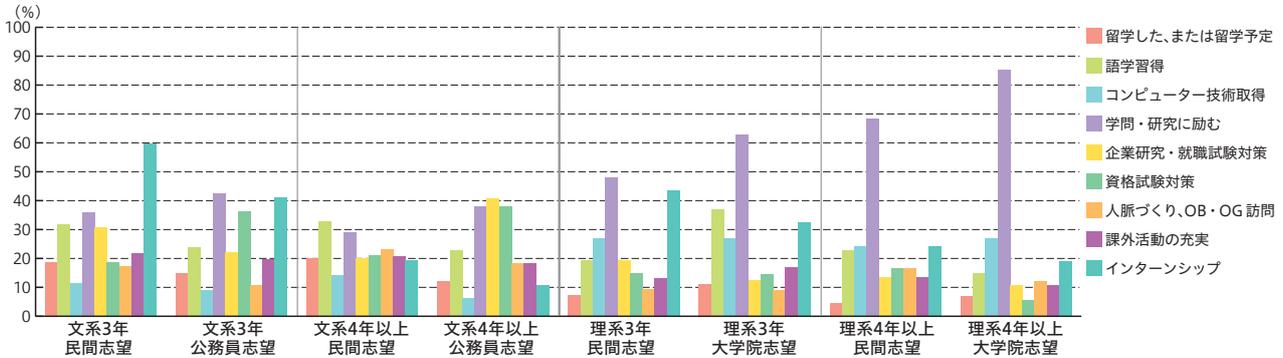


図18 志望別にみた進路にむけた準備（文理3年・4年以上のみ）（複数回答）

就職活動で自己PRしたい内容をたずねたところ、表9のように、多くが、「個人的資質・能力」、「大学での所属等」、「学力・スキル」の項目をあげています。「学力・スキル」に関する5項目では、総じて文系よりも理系の学生が自己PRしたいとしています。なかでも「大学で身につけた能力」を半数以上があげ、4年以上では71%におよびます。また「基礎学力」も40%程度があげています。対照的に「個人的資質・能力」の4項目では、総じて理系よりも文系の学生がPRしたいようです。「人格・性格」は文系では半数以上が、理系でも半数近くがあげています。文系4年以上では64%におよびます。また「コミュニケーション能力」についても、文系では40%程度で、4年以上では51%です。「体力」と「精神力」は個人差があるようです。「大学での所属等」3項目では、興味深いことに文系・理系とも低学年で「大学名」「所属学部・学科」をPRしたい比率が高くなっています。文系1年では49%が「大学名」をあげています。対照的に「所属ゼミ」は高学年でやや高いようです。

また、「これまでの経験」6項目をみると、「サークル活動経験」「アルバイト経験」が高くなっています。両項目とも理系よりも文系で、低学年よりも高学年で高く、文系4年以上では「サークル」を44%、「アルバイト」を36%があげています。また「留学・海外経験」は理系よりも文系で高く、20%程度を占めます。

表9 文理・学年別にみた就職活動で自己PRしたい内容（複数回答）

(%)

	N	学力・スキル					個人的資質・能力				
		基礎学力	語学力	取得資格	大学で身につけた能力	ITスキル	人格・性格	コミュニケーション能力	体力	精神力	
全体	3133	32.5	30.4	17.4	32.8	8.6	55.1	41.0	20.4	29.0	
文系1年	757	37.5	42.5	24.4	29.6	6.6	53.4	41.9	21.4	30.4	
文系2年	653	32.0	34.3	20.1	26.5	3.8	55.4	41.5	20.7	28.6	
文系3年	583	28.1	26.4	13.9	22.0	5.8	57.8	38.4	20.6	28.5	
文系4年以上	461	20.4	21.9	12.6	21.5	5.0	64.2	51.4	20.4	30.8	
理系1年	191	40.8	27.7	17.8	59.2	26.7	46.6	37.7	25.7	32.5	
理系2年	174	43.1	22.4	9.8	58.0	18.4	46.6	35.1	15.5	14.9	
理系3年	173	38.2	16.8	13.3	52.0	15.0	55.5	30.1	17.9	33.5	
理系4年以上	141	34.0	20.6	10.6	70.9	19.9	43.3	35.5	14.9	26.2	
	大学での所属等			これまでの経験						その他	
	大学名	所属学部・学科	所属ゼミ	インターンシップ経験	留学・海外経験	サークル活動経験	アルバイト経験	ボランティア活動経験	大学入学前の経験や活動		
全体	39.0	23.1	11.2	14.5	19.1	34.9	27.9	9.3	14.9	3.8	
文系1年	48.7	24.6	6.5	11.0	24.6	30.4	24.4	11.4	18.4	2.1	
文系2年	44.7	24.0	10.4	13.8	21.3	36.6	29.7	9.8	15.5	4.0	
文系3年	39.8	17.7	19.6	22.3	17.8	40.0	33.3	8.7	16.0	3.9	
文系4年以上	18.7	9.3	14.1	16.1	23.0	43.8	36.4	9.5	16.1	6.7	
理系1年	40.8	38.2	5.2	5.8	12.6	20.9	13.6	9.4	9.4	0.5	
理系2年	39.7	36.8	4.0	9.2	9.2	25.9	16.7	6.3	8.6	4.0	
理系3年	38.2	36.4	7.5	18.5	8.7	32.9	23.1	6.4	10.4	2.9	
理系4年以上	21.3	24.1	17.7	12.8	5.0	33.3	27.0	4.3	7.1	6.4	

卒業後の進路に不安を感じているかをたずねたところ、図19のように、全体では76%が「感じている」と回答しています。その比率は、理系よりも文系で高いようです。文系では1年～3年では80%を超えています。4年以上になると54%と低下しています。他方、理系では2年・3年で80%近くになっています。

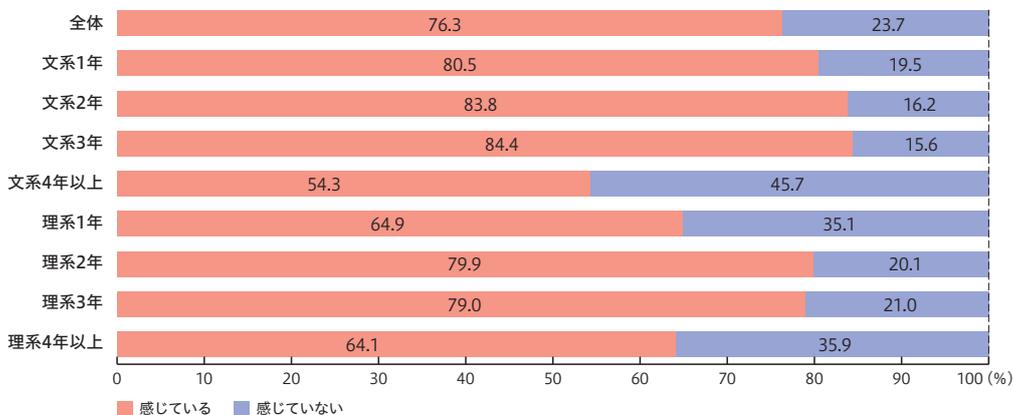


図19 文理・学年別にみた卒業後の進路についての不安

不安の内容を具体的にみると、図20のように、総じて、「自分の適性にあった仕事に就けるか」「志望する仕事に就けるか」「自分の適性、能力があるか」への不安が高いようです。文系では低学年ほど「自分の適性にあった仕事に就けるか」を不安に感じています。1年では26%ですが、4年以上では10%程度です。理系では文系以上に「自分の適性、能力があるか」への不安が高く、4年以上では30%となります。また文系・理系とも3年（文系では4年以上も）で「内定がもらえるか」を不安としている人もいます。

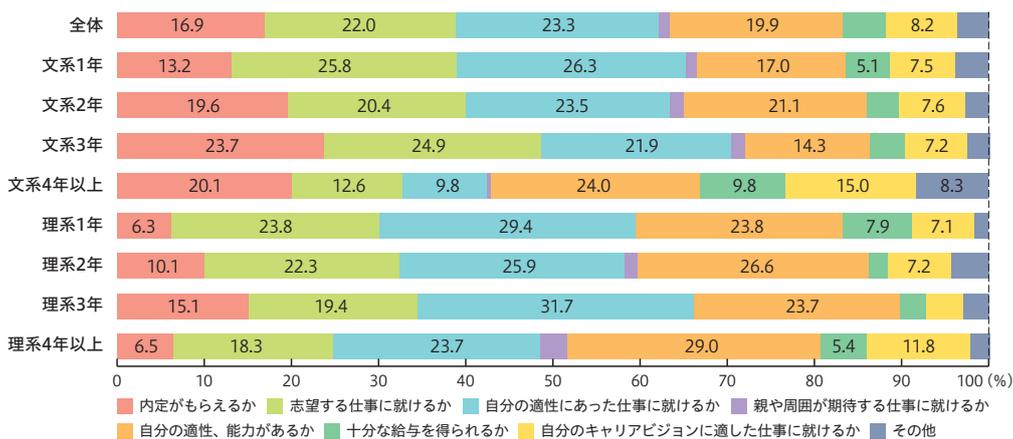


図20 文理・学年別にみた卒業後の進路についての不安内容(もっとも不安なことを1つ)

大学に提供してほしい情報やサービスをみると、全体では、「インターンシップ」「企業情報」「キャリアプラン設定のアドバイス・教育」「採用面接対策」を多くが望んでいます。しかし文理・学年別に特徴があります。文系1年～3年では「インターンシップ」が1位となり、2位は、1年では「キャリアプラン設定のアドバイス・教育」、2年では「企業情報」、3年では「採用面接対策」「エントリーシート記入方法」と、高学年ほど具体的な対策への支援を求めています。理系は、「企業情報」と「OB・OGの進路」に関する要望が強い傾向です。「OB・OGの進路」は文系では上位にあがりません。また理系3年・4年以上では「エントリーシート記入方法」も一定数あがっています。

表10 文理・学年別にみた卒業後の進路について大学から提供してほしい情報・サービス(複数回答)

	N	1位	2位	3位	4位
全体	3164	インターンシップ 48.5%	企業情報 45.3%	キャリアプランの教育 43.1%	採用面接対策 39.8%
文系1年	765	インターンシップ 51.8%	キャリアプランの教育 50.6%	企業情報 49.9%	採用面接対策 41.0%
文系2年	652	インターンシップ 59.5%	企業情報 50.0%	キャリアプランの教育 49.1%	採用面接対策 44.9%
文系3年	597	インターンシップ 49.6%	採用面接対策 45.9%	キャリアプランの教育・ES記入方法 44.6%	
文系4年以上	461	キャリアプランの教育・企業情報 34.5%	採用面接対策 34.1%	自己分析のやり方 31.5%	
理系1年	196	企業情報 47.4%	インターンシップ 43.4%	OB・OGの進路 41.8%	キャリアプランの教育 39.8%
理系2年	176	企業情報 50.6%	OB・OGの進路 47.2%	インターンシップ 45.5%	キャリアプランの教育 35.2%
理系3年	174	インターンシップ 53.4%	OB・OGの進路 50.6%	企業情報 43.1%	ES記入方法 39.1%
理系4年以上	143	企業情報 48.3%	インターンシップ 44.8%	OB・OGの進路 35.0%	ES記入方法 32.2%